

平成26年3月期 決算の概要

当期の日本市場においては、震災復興の本格化や景気の緩やかな回復を背景に、公共工事や民間工事が増加し、主として更新目的による新車購入が進んだ結果、クローラクレーン新車需要は前期比57%の増加となりました。

また、海外市場においては、先進国市場では、北米は経済が緩やかな回復基調であります、エネルギー関連工事は一服感が見られ、西欧は依然低迷し、ほぼ横這いでありました。新興国市場におきましては、中東地域は政情不安を抱えているものの、需要はほぼ横這いでありました。中国を除くアジア地域は需要が増加しましたが、中国やインド経済成長の緩やかな減速などにより需要は減少しました。

こうした市場環境の中、当社は新製品の継続的な市場投入を進めるとともに、原価低減や固定費低減など各種施策に取り組んだ結果、当期の業績は以下の通りとなりました。

【平成26年3月期の経営成績（連結）】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当期	37,304	34.4	3,161	123.9	3,171	132.8	2,061	90.7
前期	27,752	2.5	1,412	185.8	1,362	199.3	1,081	571.4

国内事業については、新車需要の増加に加え、基礎施工用の新製品の発売により販売数が増加、また、サービス部門においても、お客様の多様なニーズにきめ細かく対応したことにより、当期の国内売上高は23,449百万円（前期比51%増）となりました。

海外事業については、米州ではLink-Belt Construction Equipment Company、中東地域ではHitachi Construction Machinery Middle East Corporation FZE など、世界各地の代理店と連携し、代理店の販売支援や新興国市場の開拓などに努める一方で、新製品の発売を行った結果、当期の海外売上高は13,855百万円（前期比13%増）となりました。

世界経済は回復傾向が見られますが、今後も先行き不透明な状況が続くと予想され、クローラクレーン市場の世界需要においても急激な増加は見込まれませんが、当社は以下の重点方針を推進することで、引き続き、競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 徹底した原価低減の推進
- 2) 市場要求に合った新機種開発の推進
- 3) 関係会社及び代理店との連携強化による顧客満足度のさらなる向上
- 4) 固定費比率の低減
- 5) キャッシュフローの改善
- 6) 内部統制を重視した企業体質の強化

(お問い合わせ先)
日立住友重機械建機クレーン株式会社
経営企画部
Tel/ (03)3845-1386 Fax/ (03)3845-1379
〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号
URL/ <http://www.hsc-crane.com>